



長田中 学校だより 元気発信感動ながた



第37号 令和5年7月12日発行
金沢市立長田中学校
Email nagata-j@kanazawa-city.ed.jp
学校ホームページURL
http://cms.kanazawa-city.ed.jp/nagata-j/

*学校便り作成にあたり、生徒の文章や写真を使用する場合があります。長田中学校個人情報取扱規程を遵守しておりますが、お気付きの点がありましたら学校までご連絡ください。

「生成AI」学校向けガイドラインを文科省が公表 ～限定的な利用から始めることが適切！？～

4日（火）、文部科学省は、文章などを自動で作る「ChatGPT」などの生成AIについて、教育現場で活用する際の暫定的なガイドラインを公表しました。

【中学生へのインタビュー】

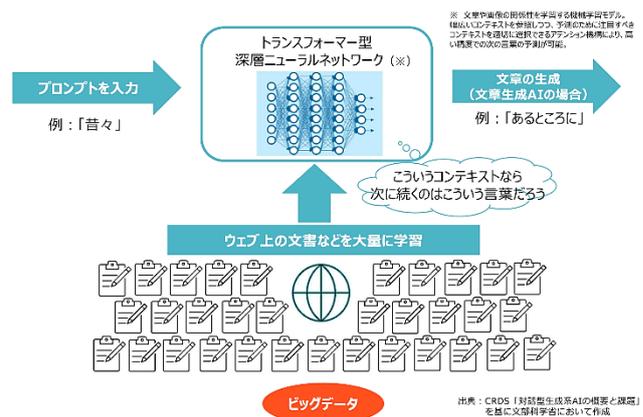
Q：生成AIやChatGPTを知ってますか？

A：LINEとかのでできるので使ったことがあります。国語とか社会とか、考える教科に使えたら便利だと思います。

A：自分で考えて文章を作ることができなくなるのがこわい。どうやって使うべきなのか教えてください。

中学生も使い方に悩む生成AI。自動で文章などを作ってくれる一方、教育への影響を懸念する声があがっています。インタビューを行ったある中学校では生成AIを導入していないものの、教諭側も知識が不足しているとして「活用方法を学ぶ必要がある」などと話していました。

ガイドラインでは、**適切ではない使い方**や**適切な使い方**の例が示されました。思考力などへの影響から「限定的な利用から始めることが適切」だとしていて、学校現場での取組などを踏まえ、今後、さらに改訂を行う方針です。



【TBS NEWS DIG ネット記事参照】

1 適切でないと考えられる例

- ① 生成AI自体の性質やメリット・デメリットに関する学習を十分に行っていないなど、情報モラルを含む情報活用能力が十分育成されていない段階において、自由に使わせること
- ② 各種コンクールの作品やレポート・小論文などについて、生成AIによる生成物をそのまま自己の成果物として応募・提出すること
- ③ 詩や俳句の創作、音楽・美術等の表現・鑑賞など子供の感性や独創性を発揮させたい場面、初発の感想を求める場面などで最初から安易に使わせること
- ④ テーマに基づき調べる場面などで、教科書等の質の担保された教材を用いる前に安易に使わせること
- ⑤ 定期考査や小テストなどで子供達に使わせること

2 活用が考えられる例

- ① 情報モラル教育の一環として、教師が生成AIが生成する誤りを含む回答を教材として使用し、その性質や限界等を生徒に気付かせること。
- ② 生成AIをめぐる社会的論議について生徒自身が主体的に考え、議論する過程で、その素材として活用させること
- ③ グループの考えをまとめたり、アイデアを出す活動の途中段階で、生徒同士で一定の議論やまとめをした上で、足りない視点を見つけ議論を深める目的で活用させること
- ④ 英会話の相手として活用したり、より自然な英語表現への改善や一人一人の興味・関心に応じた単語リストや例文リストの作成に活用させること
- ⑤ 生成AIの活用方法を学ぶ目的で、自ら作った文章を生成AIに修正させたものを「たたき台」として、自分なりに何度も推敲して、より良い文章として修正した過程・結果をワープロソフトの校閲機能を使って提出させること
- ⑥ 発展的な学習として、生成AIを用いた高度なプログラミングを行わせること

【「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」より一部抜粋】

ChatGPTなど生成AIの利用の留意点としては、①不正確な回答や無意味な回答を作成する可能性があること、②個人情報や機密情報などが第三者に流出する危険性があること、③生成した文書などに他者の著作物が含まれる可能性があるため、生成物の使い方によっては著作権侵害になる恐れがあることなどが挙げられます。学校も生徒のみなさんもその使い方に関しては、さらに学習する必要がありますね。

